

『早稲田大学図書館紀要』記事索引

第1号（一九五九年二月）～56号（二〇〇九年三月）

早稲田大学図書館紀要編集委員会

（凡 例）

一、この索引は『早稲田大学図書館紀要』の第一号から第五十六号までに掲載されたすべての記事を事項別、著者名順にまとめたものである。

二、事項別索引の排列は、原則として掲載順とし、継続もの場合には、初出の号のところにまとめた。また、特集に関しては、「(六) 特集」の項目にすべてまとめた。

三、著者名索引の排列は著（訳編）者の五十音・アルファベット順とし、個人名のみを掲げた。そのため、座談会・シンポジウム・展覧会の報告や、特定の資料を翻刻するための組織、さらには各号の巻頭言、編集後記などは割愛した。また、同一人物で表記が異なる場合（旧姓、筆名など）は、それぞれの箇所へ提出し、一つにまとめることはしていない。

四、頁数で漢数字（一、二など）は前表紙から、アラビア数

字（1、2など）は後表紙からのもので、号数22・23は合併号である。事項別索引の記載は、標題・執筆者・掲載号・頁の順とした。なお、内容等、必要に応じて「」で補記した。また、編集後記については、各号の執筆者のみ記した。

五、この索引の作成は編集委員鹿角もえぎが担当した。

（各号刊行年月一覧）

1号	一九五九・一二	7号	一九六六・三
2号	一九六〇・一二	8号	一九六七・三
3号	一九六一・一二	9号	一九六八・三
4号	一九六二・一二	10号	一九七〇・三
5号	一九六三・一二	11号	一九七〇・一〇
6号	一九六四・一二	12号	一九七一・六

13号	一九七二・三	36号	一九九二・五
14号	一九七三・一	37号	一九九二・一二
15号	一九七四・三	38号	一九九三・五
16号	一九七五・三	39号	一九九四・三
17号	一九七六・三	40号	一九九四・一二
18号	一九七七・三	41号	一九九五・三
19号	一九七八・三	42号	一九九五・一二
20号	一九七九・三	43号	一九九六・八
21号	一九八〇・三	44号	一九九七・三
22・23 合併号	一九八三・八	45号	一九九八・三
24号	一九八四・六	46号	一九九九・三
25号	一九八五・三	47号	二〇〇〇・三
26号	一九八六・三	48号	二〇〇一・三
27号	一九八七・三	49号	二〇〇二・三
28号	一九八七・一二	50号	二〇〇三・三
29号	一九八八・一二	51号	二〇〇四・三
30号	一九八九・三	52号	二〇〇五・三
31号	一九八九・一二	53号	二〇〇六・三
32号	一九九〇・三	54号	二〇〇七・三
33号	一九九一・一	55号	二〇〇八・三
34号	一九九一・三	56号	二〇〇九・三
35号	一九九二・一		

事項別索引

標 題

執筆者 掲載頁

(一) 卷頭言

葛に寄せて(発刊の言葉)	大野 實雄	1
明暗	大野 實雄	2
このたたずまい	大野 實雄	3
長恨	大野 實雄	4
セントラリゼーション	大野 實雄	5
※6〜16号については、卷頭言なし		
葛に寄せて(第一号卷頭言の再録)	大野 實雄	17 ↓ 26
紀要に寄せて	奥島 孝康	27
WLI考	奥島 孝康	28
図書館の能動化	奥島 孝康	29
ジョンストンの教訓	奥島 孝康	30
アウトリーチ・サービス	奥島 孝康	31
新中央図書館の完成にあたって	奥島 孝康	32
ライブラリアンの仕事	野口 洋二	33
優れた館員を育成するために	野口 洋二	34
「開かれた」図書館にふさわしいモラルを	野口 洋二	35
図書館の使命	野口 洋二	36

図書・図書館の歴史(断章)―早大図書館における講演要旨―	中村 初雄	4	二五
図書館学と図書館経営	川上 一	4	一三
トーン・コントロール特性	三浦 敬吾	4	二〇六
情報管理について(上)	高橋 正明	5	二
		6	二四
大学図書館の職位分類制(職階制)―ALA・大学図書館の職位分類制と給与制度(一九四七年版)の紹介―	内山 義郎	5	五
レシーバー(ヘッドホン)用レコード演奏装置(1)	三浦 敬吾	5	二二四
		6	二一九
ヘッドホン用レコード演奏装置(3)		16	二四
		17	一九
		20	二九
参考質問にみる利用者の知的要求とその対策	高宮 秀夫	6	二六
大学図書館における音楽レコードの整理について	佐藤 嘉子	6	二三
明治初年の出版法規について―日本著作権法のあけぼの―	山本 信男	7	二〇
図書整理と能率	千葉 敏	7	二七
図書整理の簡素化―ひとつの感想―	菅原 通	7	二八
理工学文献センターへの道	高宮 秀夫	7	二八

『早稲田大学図書館紀要』記事索引

欧米図書館雑感	鳥越 文蔵	7	二五
図書分類法における問題	菅原 通	8	二四
図書館友の会について―米国の諸例を中心に―	尾形 国治	8	二〇
司書職について考える		8	
一年六ヶ月		8	
女性図書館員	尾形 国治	8	二六
ある司書の反省	滝波 秀子	8	二五
	きたがわ・みさぞう	8	二六
図書館員と専門的知識	山本 信男	8	二六
図書館員と教育制度	菅原 通	8	二六
一般事務からの脱却	深井 人詩	8	二七
早稲田大学図書館新編 露文図書所蔵目録の完成	西村 庚	8	二九
早大理工学部の事例にみる文献利用の共同化について	高宮 秀夫	9	二〇
図書選択の方針について	青木 枝朗	9	二〇
大学図書館友の会―日本女子大学図書館友の会とスミス・カレッジ図書館友の会を中心に―	尾形 国治	9	二五
図書分類法の機構―Notationについて―の省察―	菅原 通	10	七六
図書館における和漢古書の在り方―とくに大学図書館の場合―	柴田 光彦	10	二〇

金石文の目録―『日本目録規則』第六 六条について―	柴田 光彦	12	—
MARC計画の推移	窪田 寛	12	—
(1) ―その概況		1	
(2) ―固定(長) フィールドの書誌 的背景		14	32
(3) ―記入の本体と可変(長) フィー ルド・ファイリングとプリン ティング		16	1
(4) ―AFRへの序、注記・トレー シングと可変(長) フィール ド		17	1
(5) ―これからの目録・RECON (1)・略語略称点描		18	1
(6) ―CIPとSDI・UNIMARCの 展開・規格化とANSIZ 39		19	1
(7) ―オンラインへの歩み		20	1
(8) ―図書館機械化の経緯と貸出管 理システム・米国の大学図書 館を事例として		21	1
台湾 東海大学図書館見学記	碓氷 喜信	12	2
別置保存書庫考―プリンストン大学別 置保存図書館を例として―	金子 宏二	14	1
電算植字方式による逐次刊行物目録の 作成に関して	窪田 寛	15	1

コロンビア大学ロー・ライブラリーに ついて	山本 信男	16	3
楽譜・音楽レコードの整理・分類に関 する文献紹介	佐藤 嘉子	17	29
University of Toronto John P. Ro- barts Research Library―トロント 大学ロバートン図書館	窪田 寛	22	23
職員海外研修報告『目録作業における 機械化』	村上千津子	22	23
IC-MARCその供給側瞥見	井口 牧二	24	12
早稲田大学総合学術情報センタープロジェク ト		24	1
(一) 早稲田大学総合学術情報センター構想		24	1
(二) 新中央図書館の基本イメージ		25	1
新中央図書館計画基本構想書		25	4
身障者サービス・ワーキンググループ報 告書		25	18
(三) 総合学術情報センター基本計画書		26	15
早稲田大学学術情報システム基本構想書		26	42
第31回国際アジア・北アフリカ人文学 学会議―コキアムA―略報	雪嶋 宏一	24	23
分類法における系と提示形式に関する 一省察―NDCを中心に―	菅原 通	25	76
新図書館とサインシステム計画―UI によるデザイン統合システムの開発を めざして	高橋 昇 仲谷由香理 仁上 幸治	27	58

英国図書館と19世紀刊本マイクロ化事業計画についてー付・早稲田大学明治期資料マイクロ化事業計画(大要)

イタリア国立公文書館の現状

総合図書館システム「DOBIS/LIBIS/WINE」(DOBIS/LIBIS with Multi-Language Processing)

視聴覚室のノイズ・騒音

西ヨーロッパ古書籍事情および大学図書館員と書籍業者とのかわり

ロー・ライブラリーおよびロー・ライブラリアンとは何かーアメリカのロー・ライブラリー設置基準から考えるー

米国経済データへのアプローチ

DOBIS/LIBIS USERS GROUP 世界大会にひこう

ドイツにおける書物の保存と修復

R・C・オルストン
山本信男訳

28
37

レナード・グリスポ述
植田 覚訳

29
41

成田誠之助
齊藤 明

29
54

三浦 敬吾
アントン・ゲーリッツ

29
79

山本 信男

35
14

渡邊 孝之

35
57

菅原 通
金子 昌嗣
伊藤 敦
齊藤 明

35
79

ヘルムート・K・バンザ
木部 徹訳

36
1

MARCの利用と情報提供の課題ーいわゆる学総目のコンバーターを中心にー

早稲田大学図書館における図書劣化調査報告

統計検索・利用のためのツールー国際経済統計を例にしてー

ドイツにおける法律図書館の現状

復旦大学図書館との館員研修交流をめぐって

早稲田大学図書館と海外図書館との協力について

早稲田大学 新学術情報システム記念式典記録

基調報告「早稲田大学の図書館システムWINE99が目指すもの」

WINEシステム・デモ

次世代図書館システムにむけて

古典籍総合データベースの構築と展開

北風 貴紫
資料保存部
会

36
42

渡邊 孝之

37
21

R・ランス
キー著
山本信男訳

38
1

高木理久夫

42
1

本間 暁

44
1

早稲田大学
図書館

47
1

深澤 良彰

47
5

藤巻 俊樹
ステイーヴ
・シルバー
スタイン

47
19

松下 眞也

53
1

(三) 資料研究・書誌学関係

鮫皮考—新井白石蘭語彙覽書— 鷗外の書簡—「伊澤蘭軒」伝執筆の為 の伊澤徳への問合せ— 補遺 附・伊澤蘭軒尺牘・椀斎 華牋拾遺	岡村 千曳	2	1
柴田 光彦	4	3	3
大黒屋光太夫遺物『露国国民学校用算 術入門書』をめぐって 大安寺縁起の成立について 舍務日誌について—東京専門学校創立 当初の資料—	高野 明	3	3
服部 匡延	3	3	3
中澤 保	4	4	4
服部 匡延	4	4	4
山路 廣明	4	4	212
ロシヤ・ソビエトの日本研究について	西村 庚	5	5
I ソ連における日本研究の現状	村山 七郎	5	5
II ロシヤの日本語学校について	中山 一郎	5	5
III 『和魯通言比考』考	高野 明	5	5
IV ソビエトにおける漂流民写本の 研究	柴田 光彦	5	5
塵劫記版式考—寛永版四卷二六条本に ついて—	青木 枝朗	5	5
A・ファーサリ『日本写真帖』			

フヴォストフ文書考 嘉永三年参府の蘭使について—同心記 録の紹介—	高野 明	6	6
挿絵画家ギユスターブ・ドレー序説	中澤 保	6	6
岡正武と岡村菊叟	目形 照	6	6
Related words to ruzaga	加藤 諄	6	6
応永期 十五世紀の初頭前後の京洛の 連歌界	山路 廣明	6	210
マヤ文字の解説について	伊地知鐵男	7	7
叡山西塔の仏足石と豪観上人伝—付・ 『豪観大僧正伝』—	植田 覚	7	7
Arabic lexicography の諸問題	加藤 諄	7	7
本館所蔵 服部南郭墨蹟二点	山路 廣明	7	182
Corpus Juris Civilis についで	服部 匡延	8	8
Lexicography より見たグ氏訳語—女 真館来文の検討の一環として—	山路 廣明	8	8
大槻玄澤に関する二、三の考察	山本 信男	8	8
法典調査会民法関係資料内容案内『民 法の部』	山路 廣明	9	9
若干の契丹文字の解説	山本 信男	9	9
本館所蔵 古文書摘録	山路 廣明	9	9
(一) —法隆寺文書(二卷二十通)—	柴田 俊六	12	12
(二) —近江国蒲生郡上駒月古券(二 卷八通)—		13	13

(三) ー 下京中出入之帳 ー	柴辻 俊六	14	哭
(四) ー 彦根藩三浦家文書 ー	湯浅 隆	15	吾
(五) ー 康永三年僧止憲信置文 ー	柴辻 俊六	16	吾
(六) ー 両替商竹原文右衛門家屋敷証文 ー	湯浅 隆	17	三
(七) ー 東大寺文書(一卷八通) ー	柴辻 俊六	18	四
(八) ー 大坂廻船差配九店関係文書 ー	湯浅 隆	19	七
(九) ー 南都諸大寺関係文書(二卷八通)	柴辻 俊六	25	二〇
(一〇) ー 溝江文書・新庄文書(九通) ー	柴辻 俊六	26	三三
南郭印存	服部 匡延	12	付録一
コーランに見る異形の語その他について	山路 廣明	12	61
早稲田大学図書館蔵 ヒポクラテス関係資料	緒方 富雄	13	一
『武部尚二雑記帳』に関する覚書	杉本つとむ	13	二四
早稲田大学図書館蔵 逍遙書人本についてーレトリックと逍遙の朗読 ー	尾島庄太郎	14	一
山路之徽『和蘭緒言』の考察ー蘭語学史上の新資料 ー	杉本つとむ	15	一
宇田川家蔵板本と「留板」	金子 宏二	17	五
『魯西亜語覚書』について	岩井 憲幸	17	六

『早稲田大学図書館紀要』記事索引

高橋景保編『亜欧語鼎』の小察	杉本つとむ	18	一
館蔵『南洋巡航日誌』のこともども	田口 親	18	三
宇田川榕庵『孔保知文』の考察	杉本つとむ	19	一
ゴシケービチ 橋耕斎『和魯通言比考』覚書	岩井 憲幸	20	二四
早稲田大学図書館蔵『英和対訳袖珍辞書』の一考察	杉本つとむ	21	一
『カフカズ考古学資料』	雪嶋 宏一	21	三五
早稲田大学図書館蔵『漂荒紀事』(写本)の検討ー書誌的な点を主として	杉本つとむ	22	二三
荻野研究室収集 三条西実隆の書状をめぐって	柴田 光彦	22	三
亡命ロシア詩人の系譜ーシュティン・コレクシヨンの紹介によせてー	川崎 淡	24	一
日本におけるゴーゴリ翻訳・紹介文献ー戦前篇 ー	秦野 一宏	24	三三
西ドイツ法律文献の調べ方ー基本文献概説 ー	ラルフ・ランスキー著 山本信男訳	26	1
ヴェクトリア朝のブック・イラストレーションーラファエル前派とモクソン版『テニソン詩集』(一八五七) ー	谷田 博幸	27	一
荻野研究室収集 細川頼之自筆書状について	久保尾俊郎	27	三

早稲田大学所蔵 チャールズ・バベ ジ・コレクションによせて	新澤 雄一	27	1	三井文庫と村上文庫 (The Mitsui Bunko and Murakami Bunko)	ドナルド・ H・シャイ ブリー	35	1
ケンブリッジ大学出版局刊行(二五八 六一―七九九年)古書コレクション	ロナルド・ マンスブ リッジ著 高橋晶子・ 雪嶋宏一訳	27	25	小寺謙吉と小寺文庫寄贈の経緯 早稲田大学図書館におけるロシア語蔵 書の構築(一)	中西 裕 本間 暁	35	26
フランス工芸製本の技術と歴史	松下 眞也	28	1	S Pレコードと録音(一)	三浦 敬吾	36	64
オックスフォード大学出版古書コレク ション(二五八五―一七九八)につ いて	鶴 正之 雪嶋 宏一	28	49	『御成敗式目』の出版と小槻伊治 『明暗』修復の記録	久保尾俊郎 井口 牧二	38	36
『内務省警保局内部資料』紹介	荻野富士夫	29	一	早稲田大学図書館蔵 善光寺信仰資料 考・附解題	吉原 浩人	39	39
中国正史にみる「人癡」資料―五行志 におけるひとつの概念の範疇とその分 類の試み―第一回	高木理久夫	29	充	ロシアにおける書籍印刷 (第一回) その始まりから16世紀末ま で	岩田 行雄	40	97
早稲田大学図書館所蔵のインキユナブ ラ (Incunabula in Waseda University Library)	雪嶋 宏一	29	85	(第二回) 17世紀ロシアの書籍印刷と 流通		41	1
中臣祐伸と祐建をめぐって―「尾張国 郡司百姓等解文」の奥書から―	久保尾俊郎	31	三	(第三回)		43	47
杉捷夫文庫(仮称) について	本間 暁	31	畚	(第四回)	堀 新	46	1
ルカ・パチオリの簿記書―複式簿記の 源流をたずねて―	染谷恭次郎	31	1	史料紹介 岡山藩官位関係史料(二)		45	二七
〈桂川家関係資料〉の受入れに関係して	杉本つとむ	33	一	阿佐井野宗端と『医書大全』の出版	久保尾俊郎	42	二五
インキユナブラ書誌の歴史(二)	雪嶋 宏一	33	1	早稲田大学図書館所蔵『香取文書』に ついて	渡辺 智裕	43	七
(二)		34	9				

『十市遠忠三十番歌合』について	井上 宗雄	44	一
野口豹藏旧蔵『蘭学資料』小察	杉本つとむ	44	三
『独々涅烏斯草木譜』原本は江戸期の洋式製本か?	岡本 幸治	45	二
新収貴重書紹介 光悦謡本 袋綴別製新種本	竹本 幹夫	46	一
新収の歌書三点―『続古今集』『雲葉集』『歌合集』	兼築 信行	47	一
加藤清正朝鮮陣書状について	藤原 秀之	45	三
Slavic Gospel from the 16th century in Waseda University Library, Tokyo	Axinia Dzhurova	47	80
『早稲田大学図書館所蔵 16世紀の斯拉ブ語福音書』	兼築 信行	48	一
早稲田大学図書館所蔵の古筆切資料	雪嶋 宏一	48	26
『ニユルンベルク年代記』ラテン語初版における若干の書誌学の問題	井上 宗雄	49	一
新収の中世歌書四点―愚見抄・夏日同詠百首和譚(細川持之百首)・東寺金勝院本祐自筆歌卷・太神宮法楽百首(十市遠忠百首)	小林 大輔	49	一
酒井 茂幸	酒井 茂幸	49	一
プロティノス『エネアデス』とルネッサンス	酒井 紀幸	49	22
早稲田大学図書館所蔵 城幸本『平家物語』について	鈴木 彰	50	六
早稲田大学蔵『助詞考』二種の比較考察	寺田 智美	50	1

『早稲田大学図書館紀要』記事索引

早稲田大学図書館蔵『和歌灌頂次第秘密抄』について	スピアーズ・スコット 兼築 信行	51	一
早稲田大学図書館新収『鎌倉大草紙』について	田口 寛	51	元
『早稲田大学図書館紀要』第五一号	田口 寛	52	三
『早稲田大学図書館新収「鎌倉大草紙」について』補説	田口 寛	52	三
新収資料紹介「妙法蓮華経 八巻」	資料管理課 特別資料室	52	三
早稲田大学図書館所蔵『明治期彩色写真帖』	藤原 秀之	52	34
阿佐井野版『三体詩』について	久保尾俊郎	53	五
早稲田大学図書館所蔵伊能図(大図)について	藤原 秀之	54	一
三宅亡羊と『徒然草』の刊行	久保尾俊郎	54	三
石部氏の刊行事業	久保尾俊郎	55	元
早稲田大学開校期における銭恂の寄贈図書について	高木理久夫	55	四
早稲田大学図書館新収「異本鎌倉大草紙」解題―東博本系統本文の特徴紹介として―	田口 寛	56	九
十月革命十周年記念の映画…新収資料	八木 君人	56	五
“Soviet cinema: film periodicals, 1918-1942. Part 1. Journals, Part 2. Newspapers.”	八木 君人	58	五

(九)	明治四〇年七月～十二月	38	二五	早稲田大学図書館『館長日誌』翻刻と 解題(上)	館長日誌翻 刻委員会	33	二六
(一〇)	明治四一年一月～六月	39	二七	(下)			
(一一)	明治四一年七月～十二月	40	三	資料紹介 阪正臣『香実荘の記』	中野 幸一	38	三四
(一二)	明治四二年一月～六月	42	三〇	美妙自筆草稿『風琴調一節』に関する ノート―翻刻と問題点―	木村 義之	38	三〇
(一三)	明治四二年七月～十二月	43	三	早稲田大学図書館所蔵 外記平田家文 書所収『外記政』について	藤原 秀之	40	三七
(一四)	明治四三年一月～六月	44	一九	The Waseda MS of Nicholas Love's Myrrour of the Blessed Lyf of Jesu Christ—Diplomatic Transcrip- tions of Die Veneris—	小黒 昌一	40	一
(一五)	明治四三年七月～十二月	45	九	島村抱月『滞独婦朝日記』	榎本 隆司	40	51
(一六)	明治四四年一月～六月	46	一	早稲田大学図書館蔵『拾葉和歌集序』 解題と翻刻	竹盛 天雄	42	二五
(一七)	明治四四年七月～十二月	47	一三	翻岡山藩池田家文庫「天保五甲午年江 戸御国状留」	兼築 信行	43	一
(一八)	明治四五年一月～六月	48	二四	刻『故事部類抄』(一)	岡山藩研究 会分科会	44	八
(一九)	明治四五年七月～十二月	49	二〇		曲亭叢書研 究会	44	八
(二〇)	大正二年一月～六月	50	一六			45	三
(二一)	大正二年七月～十二月	51	一四			47	三〇
(二二)	大正三年一月～六月	52	一五			45	三
(二三)	大正三年七月～十二月	53	三			48	一八
(二四)	大正四年一月～六月	54	一五			49	二五
(二五)	大正五年一月～六月	55	二四			50	三三
(二六)	大正六年一月～七月	56	二四				
	『春城日誌』余滴 付・市島榮治氏寄 贈資料リスト	36	一				
	刻『二楽軒詠草』	柴田 光彦	26				
	刻『護持院原の敵討』森鷗外自筆原稿	小倉 斉	33				

翻刻『好春自筆句集』

早稲田大学
近世貴重本
研究会
56
冊

(五) 書誌・索引・目録

南大曹旧蔵 名家書翰集目録・附索引
中澤 保 1 二五

蔵法典編纂関係資料目録並解題(鶴田
皓旧蔵旧刑法・治罪法編纂関係原資
料・法典調査会議事速記録・其他法典
編纂関係複製資料)

松田 信男 2 七

蔵二葉亭四迷旧蔵露文献目録並解題
―坪内雄蔵氏寄贈記念図書―

高野 明 2 一〇
柴田 光彦 2 二三

蔵未刊本松屋筆記目録〔卷十七至三六〕

天野為之先生雑誌掲載論文目録

(一) 東洋経済新報 (1)
高野 善一 4 三三
杉本富士夫 5 二

(二) 東洋経済新報 (2)

(三) 東洋経済新報 (3)

大隈重信論文目録

蔵極東国際軍事裁判記録目録

ソビエト科学アカデミー版『日本書
誌』解題

特殊語関係分類目録 五種

Basil Hall Chamberlain 書誌

高野 明 7 空
山路 廣明 10 47
木村 壽子 10 1

Bibliography of witchcraft and de-
monology―悪魔学主要文献解題―
日本における ガルシニア・ロルカ文
献目録
目黒 聰子 14 1
吉田 八栄 13 1

書庫散策―学祖群愛読洋書散見リスト

―
高野 善一 14 50
柴田 光彦 14 付録一
田中 善信 14 付録一
澤本 君恵 15 七
山路 廣明 15 七

早稲田大学図書館所蔵 古短冊集目録
続篇

契丹墓誌銘文字索引
山路 廣明 15 七

『早稲田大学図書館紀要』記事索引
(第一号〜第二十号 昭和三十四年十
二月〜五十四年三月)

後藤 美江 20 二三
山本 信男 21 57
後藤 美江 21 57
岡部 澄子 22 23
沢田 和彦 22 23
目黒 聰子 22 23
佐藤 嘉子 22 23
早稲田大学 24 50
図書館編

早稲田大学大学院 法学研究科修士論
文目録―昭和二十八年三月〜五十五
年三月

「日本におけるゴンチャロフ」書誌
目黒 聰子 22 23
ボルヘス邦語書誌
早稲田大学図書館視聴覚室収蔵 早稲
田大学関係録音資料目録

付録 シュテイン・コレクション目録
岸 トモ子 25 92
全国遺跡名総覧
(その一) 静岡県〜沖縄県
(その二) 北海道〜岐阜県

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

早稲田大学 24 50

オランダ国立民族博物館(ライデン市)所蔵 日本書仮目録(草)	杉本つとむ	26	二五
井伏鱒二書誌調査―「井伏鱒二展」に 関連して―	深井 人詩	27	42
早稲田大学図書館文庫目録第一〇・一 一・一二輯の刊行			
『入江文庫目録』		27	一六
『西垣文庫目録』		27	一三
『柳田泉文庫目録』		27	一三
早稲田大学蔵書印譜私稿 図書館所蔵	大江 令子	28	一
(一)		29	三
(二)		31	三三
(三)		33	三三
(四)		35	三
(五)		42	一七
(六)		45	一五
(七)		46	四
(八)		47	一六
(九)		140	
丹羽文雄参考書誌―「丹羽文雄展」に 関連して―	深井 人詩	28	
個人書誌調査 森銑三著作事例―	深井 人詩	31	53
『オリンポスの果实』書誌調査	深井 人詩	34	1
小寺文庫所収特別図書目録	藤卷 俊樹	35	43

『早稲田大学図書館紀要』記事索引

『中央学術雑誌』細目	十重田裕一	36	七
本邦所在インキユナブラ目録予備版	雪嶋 宏一	36	78
書誌調査「真珠湾」の大洋丸	深井 人詩	38	37
早稲田大学蔵書目録 図書館所蔵 藤野古白旧蔵書目録	久保尾俊郎 岡田 広之	39	三三
『早稲田大学図書館紀要』記事索引 (第21、40号―一九八〇・三―一九九 四・一一)	早稲田大学 図書館紀要 編集委員会 編	40	三
独逸「賠償問題」雑誌記事抄録索引	深井 人詩	40	139
早稲田大学蔵書目録―版本編―	久保尾俊郎	45	一八
本館所蔵 古文書等略解題(一一)	柴辻 俊六	45	二〇
早稲田大学蔵書目録―近世日本漢詩集目録(一一)	久保尾俊郎	46	三
(二)		48	三
(三)		50	二七
高田早苗著作目録私稿―一九九八・半 峰没後六〇年記念書誌―	福田 秀夫	46	二五
早稲田大学蔵書目録 図書館所蔵 杉本家旧蔵俳諧資料目録・解 説	早稲田大学 図書館特別 資料室	49	二五
フランス国立図書館856写本における目 次と索引―とくにその作者措置につ いて―	瀬戸 直彦	49	1

『早稲田大学図書館紀要』記事索引
 第1号(一九五九年一月) 56号
 (二〇〇九年三月) 編 早稲田大学
 図書館紀要
 編集委員会
 編

(六) 特集

創立八十周年記念座談会 早稲田大学 図書館八
 十年の回顧と百年への展望 4 三六

座談会 法律図書館はいかにあるべきか 6 一四

談話会 思い出ばなし洋書輸入六十年 7 二七

座談会 早稲田大学図書館 歴代館長
 図書館を語る―その現状と改善の方
 策― (誌上参加) 14 二〇

岡村千曳先生の追憶
 故岡村千曳先生略伝 柴田 光彦 6 一四
 岡村千曳先生とわたくし 緒方 富雄 6 一五
 岡村千曳君の追憶 生方 敏郎 6 一六
 岡村先生を偲ぶ 斎藤 信 6 一七
 岡村千曳先生のおもいで 大野 實雄 6 一八
 馬琴研究会と老先生 鶴月 洋 6 一九

岡村千曳先生の洋学研究について―
 「紅毛文化史話」をめぐる― 沼田 次郎 6 三〇
 図書館百年のあゆみ

新中央図書館を考える 奥島 孝康 30 一

座談会 早稲田大学 歴代館長図書館を語る
 図書館 大野 實雄 30 二

歴代事務長が語る戦後図書館の歩み (誌上参加)
 私の図書館生活十カ年の回顧 大塚 芳忠 30 二五
 思い出すままに 吉井 篤雄 30 二六
 素人ならではの 佐久間和三郎 30 二七
 思い出すままに 角田 俊雄 30 二八
 戦後図書館の私の記憶 内山 義寶 30 二九
 過去・未来 高宮 秀夫 30 三〇
 図書館から学術情報センターへ 矢澤 西二 30 三一
 激動期の図書館にあって 今井 半 30 三二
 建物からみた図書館小史 図書館史編 30 三三
 図書館の人と仕事 集委員会 30 三四

図書館に生きて	青木 四郎	30	一四
当時の洋書係・整理について	澄山 暉	30	一五
マイクロおよびレコード資料収集のはじまり	田口 親	30	一六
特別資料室のはじまり	柴田 光彦	30	一七
昭和三十年ころの寄贈交換について	山路 廣明	30	一八
撮影室の出来たころ、その経緯	遠藤 雅司	30	一九
当館の月報と紀要のことども	茂木 堯秀	30	二〇
部局出向の頃のこと	植田 覚	30	二一
はじまりは「指定図書室」から	赤座 典子	30	二二
受入係今昔	鎌倉喜久恵	30	二三
昭和四十年代の和漢書係では	馬場 静子	30	二四
法律目録の編纂について	山本 信男	30	二五
参考係のこと	渡部 輝子	30	二六
昭和四十八年の学生乱入事件について	寺本 辰雄	30	二七
コンピュータ導入へのみちのり	窪田 寛	30	二八
企画広報係の誕生	金子 宏二	30	二九
図書館と演劇博物館	林 京平	30	三〇
會津記念室と図書館のかかわり	服部 匡延	30	三一
大学史編集所と図書館	佐藤 能丸	30	三二
文庫創設者を語る			

『早稲田大学図書館紀要』記事索引

「下村文庫」下村正太郎について	下村正太郎	30	三三
E・A・ゴルドン夫人の生涯	中村 悦子	30	三四
父・小寺謙吉の思い出	小寺 泰子	30	三五
「小倉文庫」と祖父金之助	小倉 欣一	30	三六
父・服部元文のこと	服部 元義	30	三七
「衣笠詩文庫」成立と衣笠静夫	衣笠 和夫	30	三八
「教林文庫」と辻井徳順師	田嶋 一夫	30	三九
多彩なコレクションでユニークな「西垣文庫」	羽島 知之	30	四〇
図書館の新世紀を迎えて―総合学術情報センター計画―	村上 博智	30	四一
「総合学術情報センター小委員会」の報告書について	総合学術情報センター	30	四二
総合学術情報センターの建築計画について	総合学術情報センター	30	四三
早稲田大学学術情報システム構想	学術情報システム課	30	四四
図書館における資料保存			
資料保存方策雑感	奥島 孝康	32	一
早稲田大学図書館における資料保存問題の経緯と展望	松下 眞也	32	二
早稲田大学図書館に於ける資料の保存対策	井口 牧二	32	三
現代に於ける資料保存問題	久保尾俊郎	32	四
	森 縣	32	五

天理図書館 資料保存の現状 における	大内田貞郎	32	32	三	英国大学図書館員論の一面	小山 騰	34	34	三
慶應義塾大学三田情報センターにおける 資料保存政策の現状について	風間 茂彦	32	32	三	北京大学図書館の女性図書館員の位 置づけ	薛 晶如	34	34	五
一橋大学社会科学古典資料センターにおける 資料保存の現状	中野悠紀子 松尾 恵子	32	32	三	書誌情報サービスの多様化と大学図 書館員	石黒 敦子	34	34	六
古書の保存と利用について	増田はるみ	32	32	六	大学図書館員	逸村 裕	34	34	七
Bodleian Library における資料保存 について	イズミ、K. タイトラー	32	32	七	図書館利用教育に関心を	荒岡興太郎	34	34	八
保存の方法としての複製出版	八木 壮一	32	32	八	早稲田大学新中央図書館	野口 洋二	37	37	一
古典籍の公開と保存	兼築 信行	32	32	九	新中央図書館―回顧と展望	奥島 孝康	37	37	九
資料保存における酸性紙問題	鈴木 英治	32	32	一〇	「春城」開館の記	富江 伸治	37	37	元
歴史的製本の保存技術	岡本 幸治	32	32	一〇	大学図書館のスペース構成の変遷と 早稲田大学中央図書館―主に学 習・研究図書館機能の配置からみ て―	旭 英樹	37	37	三
早稲田大学図書館所蔵資料劣化度調査報告	図書館紀要 編集委員会	32	32	1	新図書館の建築および設備―開館か ら一年を振り返って―	馬場 静子	37	37	五
早稲田大学 明治期資料マイクロ化事業 について	山本 信男	32	32	35	新図書館の組織と運営について	瀬山 峯徳	37	37	六
環境制御法を応用した資料保存	新井 英夫 見城 敏子	32	32	48	総合閲覧の新館一年を振り返って	小川 充彦	37	37	七
大学図書館員論―現状と展望	奥島 孝康	34	34	一	レファレンスサービスの一年を回顧 する	金子 宏二	37	37	七
『瘠我慢の説』考	今井 半	34	34	七	新館オープン―国内図書担当―この 一年を振り返って	本間 暁	37	37	八
図書館サービスとQCサークル活動	山本 信男	34	34	八	研究書庫この一年	山本ちえ子	37	37	八
大学図書館および大学図書館員	菅原 通	34	34	八	新館開館一年―外国図書課―報告と 課題				
大学図書館員の研究、研修、プレゼ ンテーション									

雑誌課の一年間を振り返って	松下 眞也	37	二
新館における特別資料室の一年	井口 牧二	37	七
新館一年を振り返って―複写・マイ ク口資料関係を中心として―	菊池 知明	37	一〇三
新館一年を振り返って―A.V.ルーム の利用統計を中心に―	芝田 穂	37	二〇
新館一年を振り返って―僕の自己点 検元年―	鳥井 幸雄	37	二九
新図書館を利用して	櫻井 孝一	37	三六
旧図書館利用者の新図書館利用の感 想	伊東洋一郎	37	三九
『図書館紀要』創刊四〇号によせて			
図書館長在任当時の思い出と今後へ の期待	平田富太郎	40	一
大野先生・図書館・大学	奥島 孝康	40	六
思い出の本 三則	加藤 諄	40	二
『早稲田大学図書館紀要』創刊四〇 号に思う	野口 洋二	40	六
本紀要の躍進を祝して	茂木 堯秀	40	九
洋学特集			
幕末の洋学事情―近代の発信地、長 崎と蘭医と近代教育―	杉本つとむ	41	一
続・幕末の洋学事情―近代の発信地、 長崎と蘭医と近代教育―		42	一

『早稲田大学図書館紀要』記事索引

早大本『蘭東(唐)事始』翻刻	校閱… 杉本つとむ 翻刻…	41	三
黎明期のフランス語辞書の訳語に関 する一考察―舶来事物の表記をめぐ って―	木村 義之		
司馬江漢の面白さ	富田 仁	41	二三
杉田・大槻・宇田川・桂川家関係資 料に見られる落款・蔵書印譜― 「洋学文庫」より―	近藤 秀実	41	二六
宇田川家蔵板物と権利意識について ―「地学初歩和解」重板一件にふ れて―	鎌倉喜久恵	41	三〇七
小特集・『図書館紀要』創刊五〇周年	金子 宏二	41	三三
回想・図書館と私	奥島 孝康	56	一
副館長・館長在任当時の思い出と今 後への期待―『図書館紀要』創刊 五〇周年によせて―	野口 洋二	56	三
図書館紀要の編集二〇年	松下 眞也	56	六
〔『図書館紀要』創刊五〇周年によせて〕 図書館による学習支援の創造と展 開―法科大学院の「法情報調査」 を手がかりとして―	加藤 哲夫	56	九

(七) その他の論考など

演歌について	田口	親	1	二三	「絵本ドン・キホーテ」のことなど	尾形	国治	14	二三
東雲節にちなむ資料の一端―流行歌とその社会―	田口	親	2	二四	シヤック先生のこと	山本	信男	15	二四
唱歌になった足尾鉍毒事件とその資料の一端	田口	親	3	二〇	僻地・視聴覚資料室	佐藤	嘉子	15	二〇六
『お江戸日本橋』について―はねだ節からお江戸日本橋へ―	田口	親	4	二五	纏足・マイクロ資料室	猪之原	昌子	15	二〇七
関口芭蕉庵の朱楽菅江狂歌碑	柴田	光彦	7	元	詩人と大学図書館―内山義朗著「無限の人」によせて―	石塚	正成	17	七
『津門雑記』のこと	山口	一之	7	四	図書館人としての角田柳作先生	山本	信男	19	二〇
石井藤五郎伝―学の独立の裏方・一図書館員の生涯―	高野	善一	9	空	柳田泉と演歌本	田口	親	19	二三
蟹の泡	柴田	光彦	13	九	「トコトンヤレぶし」について	田口	親	20	三六
雑感 ハワイEWC出向半歳記	寺本	辰雄	14	二三	館長就任にあたって―編集部とのインタビュー―	濱田	泰三	22	二三
米国EWC出向雑感	中澤	保	14	二四	近代フランスにおける教育の諸相と展開―其の一 十六世紀―十八世紀	石堂	常世	25	一
タイプ之音	植田	覚	14	二五	―其の二 十九世紀―二十世紀中葉	関田	かおる	25	二八
OVERDUE & TENURE	金子	宏二	14	二六	小泉八雲の『内なる戦慄』―未発表草稿を手がかりに―	久保尾	俊郎	26	五
コーヒー・ブレーク	山本	信男	14	二七	宇田川榕庵の号をめぐって	鎌倉	喜久恵	27	四
二人の思い出	確水	喜信	14	二八	会津八一と「壺中居」―「孤陶洞」因縁―	渡邊	孝之	29	1
米大陸西岸各大学の東アジア図書館見学記	菅原	通	14	二九	農業保護政策批判の論調―米輸入自由化問題を中心に―	滝波	秀子	31	一
二、三のこと―海外図書館印象記―					元早稲田大学講師A・A・ワノーフスキ―の略伝と関係資料	田口	親	31	四
					まっくらけ節について				

杉捷夫先生と文献センター	中條 忍	31	六
小山千鶴子氏インタビュアー 父(小山松寿)を語る―大隈老侯めぐって―	小山千鶴子	31	六
八〇年代における日米農産物貿易の諸問題	渡邊 孝之	31	15
ノーエ節(さいさい節・農兵節)	田口 親	36	五
夢追う人―A・ワノーフスキー伝―	ミラー・M・ヤコベンコ 滝波秀子訳	38	二
和歌文学資料展示の企画・運営にあたって	兼築 信行	38	六
古鐘をたずねて―熊谷幸次郎君との思い出から―	加藤 諄	39	一
おっぺけぺ節について	田口 親	39	二五
マイクロフィッシュ版 明治期刊行物集成 文学・言語編 完成記念シンポジウム 「明治」の本・人・出版社	紅野 敏郎 近藤 信行 高井 有一 中島 国彦	44	二〇
映画『日本南極探検』について―いつ、誰が、何を撮影したのか―	岩佐 圭子	45	1
日本におけるロシアのインテリゲンチヤーミハイル・ペトロヴィイチ・グリゴリーエフの生涯と創造―	エレオノーラ・サブリーナ著 滝波秀子訳	45	31
ジョセフ彦 一〇〇年祭記念講演	内川 芳美	46	三
近代日本の新聞ジャーナリズム			

『早稲田大学図書館紀要』記事索引

ジョセフ彦研究六〇年	近盛 晴嘉	46	二
『白菊の歌』のこと	田口 親	46	二五
宗仲について	久保尾俊郎	47	三
芝蘭堂のオランダ正月	レイニア・H・ヘスリ	47	
月1日	矢橋 篤訳	47	101
動坂界隈の作家たち	大槻 岐美	48	三
大槻岐美さんインタビュアー	宗像 和重	48	三
日本人の芸術生活(文学部特別講義)	暉峻 康隆	49	七
阿佐井野氏について	久保尾俊郎	49	四
『早稲田大学図書館紀要』五〇号を記念して―歴代館長より―	野口 洋二	50	一
学術出版の祖 アルド・マヌーツイオ	岡澤 憲美	50	
わが国におけるアルド版の調査研究	浦川道太郎	50	
雪嶋 宏一	雪嶋 宏一	52	1
雪嶋 宏一	雪嶋 宏一	54	1
高木理久夫	高木理久夫	56	1

(八) 展覧会

「近世文学貴重資料展」について	雲英 末雄	27	二五
「近代詩歌早稲田四人展」回顧	尾形 国治	28	三
「窪田空穂展」について	窪田空穂展準備委員会	28	三

「幕末・明治のメディア展」報告―私立大学図書館協会賞受賞―	同展 実施委員会	29	二五	早稲田大学 図書館展示 部会
「三好十郎展」報告	同展 実施委員会	29	一九	ライデン大学・ボン大学における早稲田大学図書館所蔵蘭学資料展について
「王朝物語資料特別展」について	小山 清文	31	三	
「生誕一五〇年記念大隈重信展」報告	金子 宏二	31	七	
「早稲田と文学の一世紀」展報告	同展 実施委員会	35	一	二〇〇一年度 図書館主催展覧会報告
早稲田大学芸術功労者表彰記念「八木義徳展」報告	同展 実施委員会	37	二三	展覧会の企画と運営―早稲田大学図書館展示部会の経験から―
没後百年記念 北村透谷展記念講演	平岡 敏夫	42	五	二〇〇三年度 図書館主催展覧会報告
没後百年の透谷像―透谷評伝を書きおえて―	色川 大吉	42	六	二〇〇四年度 図書館主催展覧会報告
現代と透谷の精神	松下 眞也	43	1	二〇〇五年度 展覧会開催報告
図書館と展覧会	安井 亮平	45	一	二〇〇六年度 展覧会開催報告
ブブノワ展開催記念講演会「スフミのブブノワさん」	早稲田大学 図書館展示 部会	46	二三	創立125周年記念展覧会報告
一九九八年度 図書館主催展覧会報告	早稲田大学 図書館展示 部会	47	二三	
一九九九年度 図書館主催展覧会報告	早稲田大学 図書館展示 部会	55	1	

(九) 口絵

早稲田大学図書館新収貴重書

- (一) R・カンティヨン『商業一般本質論』(初版) 26
- (二) 『新色五巻書』 27
- (三) K・マルクス自筆校閲本『資本論』仏訳初版 28
- (四) 『俳諧 虎溪の橋』 29
- (六) ヴォーバン『王国十分の一税金』1707年版 31
- (七) 『すみよしのさうし』 33
- (八) モンクレティアン『経済学提要』 34
- (九) 『明德記』 36
- (二〇) グリゼリーニ編纂『イタリア近代最初の百科事典』 38
- (二一) 馮夢龍編『警世通言』 39
- (二二) 『キーツ・初版詩集について』 40
- (二三) 桂川甫周(国端)『北槎聞略付録図』 41
- (二四) 拾葉和歌集序 42
- (二五) ヒューム『人性論』初版 43
- (二六) 遠忠三十番歌合 44
- (二七) 死者の書 45
- (二八) 光悦謡本袋綴別製新種本 46

『早稲田大学図書館紀要』記事索引

- (一九) 『続古今集』『雲葉集』『歌合集』 47
- (二〇) 十二源氏袖鏡 48
- (二一) 太神宮法楽百首・夏日同詠百首和調 49
- (二二) 城幸本『平家物語』・浮世草子『好色日用食性』 50
- (二三) 『和歌灌頂次第秘密抄』・『鎌倉大草紙』 51
- (二四) 明月記断簡 52
- (二五) 「枯枝に・笠やどり」画賛 松尾芭蕉筆 53
- (二六) 宗祇書簡 明応四 自筆 54
- (二七) O-Ha-Yo (おはよ) by Georges Bigot, 1883 55
- (二〇) **編集後記** (なお第15号、20号までは「後記雑感」のうち10、28号までは編集委員の共同執筆のため個人名は割愛した)
 - 1～9号 茂木堯秀
 - 6号 佐久間和三郎
 - 7～9号 角田俊雄
 - 11号 無記名
 - 29～30号 馬場静子
 - 31～45号 松下真也
 - 46～47号 無記名
 - 48～54号 松下真也
 - 55～56号 藤原秀之

(一一) 別冊

第一号

二葉亭四迷資料
— 目錄・解説・翻刻 —

柴田 光彦
山本 信男
澤本 君恵
酒井 清
安井亮平・
編

第二号

古短冊集目錄 二種

編 柴田光彦・
茂木堯秀・
造本

第三号

曲亭馬琴書簡集

柴田光彦・
校注 茂木堯秀・
造本

第四号

早稲田大学における社会科学
系洋雑誌の所属評価

加藤 園子
金子 昌嗣
中元 誠